春日井市定例記者会見

資料９

メタバースを活用したオンライン不登校支援に取り組みます
～教育の機会の確保に向けた新しい選択肢～

１　目　的

様々な理由で、学校への登校が困難となっている子どもは年々増加し、本市でも、不登校児童生徒数が過去最高となるなど、喫緊の課題となっています。中学校全校への登校支援室の設置など、様々な支援により、不登校生徒数の増加率減少、支援生徒の出席日数改善傾向が見られます。しかしながら、不登校の背景は多様であり、既存の支援リソースに繋がらない子どもたちもいます。より多様な不登校支援の一つとして、全中学校を対象に、メタバースを活用したオンラインでの不登校支援を試行し、効果を検証します。

２　経　緯

時期	取組	概要
第１弾 令和２年度～	登校支援室（校内フリースクール）の設置	未然防止と心のエネルギーを回復させる居場所(Hygge)の提供(令和４年度までに中学校全校に設置完了　※県内初)
第２弾 令和４年度～	フリースクール等民間施設利用を出席と扱うガイドライン策定	社会的自立に向けた努力を幅広く認め支援していくため、フリースクール等での活動を出席扱いにするガイドラインを策定
第３弾 令和５年度～	メタバースを活用したオンライン支援	メタバース内の学びの場にアバターで参加し、様々な学習・課外活動プログラムに参加するもの

３　特　徴

参加者は、事前にコーディネーターとオンラインで面談し、個別の支援・学習計画を立てます。この計画に基づき、メンター（伴走者）が、定期的にZoomでコミュニケーションを取って学びの場に誘い、保護者、学校と連携し、チームで支援します。学びの場で提供されるプログラムには、学習支援プログラムだけでなく、興味を教科に繋ぐ教科ワークショップ、居場所と感じられる居場所型プログラム、意欲を育むクラブ活動などがあります。

４　本支援（NPO法人カタリバ提供の「room-K」）の他自治体での実績

令和３年度の他自治体の実績では、参加者の約54.1%が１年以上不登校の状態で利用を始め、週１回以上学びの場に参加している利用者が平均83%となっています。

５　予　算

NPO法人カタリバとの連携協定により、令和５年度は無償で実施（利用者数制限有）。

問い合わせ　教育委員会学校教育課　TEL 0568-85-6442